

下村満子の 「生き方塾」

第Ⅱ期
平成23年10月
開講



第Ⅱ期生募集

さあ、愚直に学び、議論し、心を高め合おう!!
ほんものの人間をめざして「心の旅」が始まっています。あなたも新しい仲間になりませんか?

●入塾の方法

- 中学3年生以上なら年齢・性別・職業・国籍は問いません。但し、塾生の年齢、地域、男女比などバランスをとるため、簡単な選考を行う場合もございます。
- 所定の入塾申込書にご記入の上、「下村満子の生き方塾」事務局までFAX、メールでお申込みください。
(第Ⅱ期生募集中)

●会費

- 半年5回(20講座)で、会費は25,000円の予定。会費は例会等の会場費、講師の交通費・宿泊費等、資料費、ホームページの立ち上げ及び管理、名簿管理、事務連絡費等の補助に使われます。また中高大学生などへの会費奨学金制度を設けています。第Ⅰ期には参加の都度会費を支払う「特例措置」を設けました。
- 課外活動や特別公開講座、その他の企画講座などはこの会費に含まれません。飲食をともなう交流講座なども実費を徴収します。

●勉強会のプログラム(基本)

9:30~11:00 塾長講話

下村満子塾長のホッとタイムリーな「人生」「生き方」についての講話です。

11:00~12:15 輪読会

毎月「生き方」を考える名著を輪読。塾生の発表もあります。

12:15~13:00 昼食(休憩)

13:00~14:30 ゲスト講話

すばらしい生き方をしている方々(応援団)を招きその生き方をさく。

14:30~16:30 塾生フリートーク

塾生の生き方発表や問題提起を中心に徹底トーク。

※講座のあと、飲食を共にしながら、
車座になり本音で語り合う「夜遊び学」も開催します。

「塾長 下村満子プロフィール」

ジャーナリスト。元「朝日ジャーナル」編集長。医療法人社団「こころとからだの元氣プラザ」前理事長。「福島県男女共生センター」前館長。慶應義塾大学経済学部卒。ニューヨーク大学大学院修士課程修了(経済学専攻)。1965年に朝日新聞社入社後、「週刊朝日」記者、朝日新聞ニューヨーク特派員、「朝日ジャーナル」編集長、朝日新聞編集委員を歴任。

女性で初めてボーン上田国際記者賞を受賞したのを始め、日本翻訳出版文化賞、アテナ国際賞など。ハーバード大学ニーマン特別研究員に招聘。フリージャーナリストとして活躍のかたわら、両親の事業を引き継ぎ、財団法人東京顕微鏡院理事長に就任、続いて医療法人社団「こころとからだの元氣プラザ」を設立、性差医療の第1歩を開いた。役職多数。

主な著書に「松下幸之助「根源を」語る』『Made in Japan-Akiko Morita and Sony』『日本たまたきの深層-アメリカ人の日本観』『編集長下村満子の好奇心』『いい男の時代』『ソ連人のアメリカ観』『アメリカ人のソ連観』『ハーバード・メモリーズ-アメリカのこと・日本のこと』『いのちとは何か 生きるとは何か』他、多数。



ありがとう!
すばらしい応援団がついています!

生き方塾には、県内外を問わず、すばらしい応援団の皆様がついています。皆様、ご都合がつく限り、講師として話をしたり、さまざまな協力をする約束してくださっています。

お問合せ
お申込みは
事務局まで

〒963-0202 福島県郡山市柏山町3番地
TEL: 024-961-8822
FAX: 024-952-6788
E-mail: info@ikikata-jyuku.com